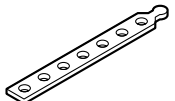
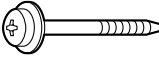
パナソニック　プラズマテレビ据置きスタンド

組み立て設置説明書

Panasonic

品番 **TY-ST50PX600**

この組み立て設置説明書は、お客様が大切に保存してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用の前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

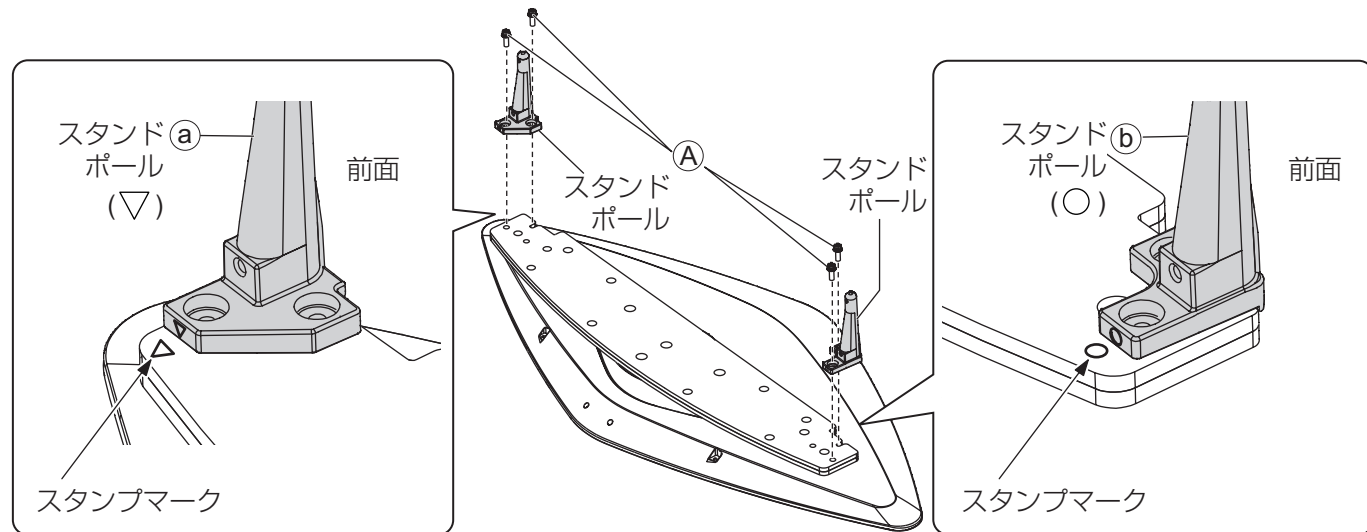
スタンド組み立て用部品（組み立て前に部品を確かめてください）

Ⓐ スタンドポール固定用ねじ（4本）	Ⓑ テレビ本体固定用ねじ（PX600用）（4本）	Ⓒ テレビ本体固定用ねじ（PX600以外の機種に使用）（4本）	Ⓓ スタンドポール（2本）	Ⓔ スタンドベース（1個）	Ⓕ バンド（2本）
M5×18	M5×65	M5×30 対象機種は、プラズマテレビ本体の取扱説明書またはカタログに従ってください。 2006年4月現在は、対象機種はありません。	ⓐ ⓑ		

転倒防止用部品

① 転倒防止用バンド(2本)	② ねじ（2本）	③ 木ねじ（2本）	④ クランパー（2個）
	呼び径4×12		

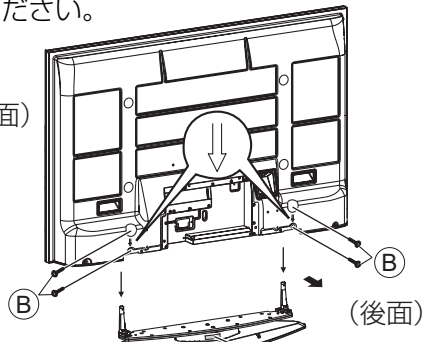
組み立て方法

スタンドポール固定用ねじⒶを使って、下図の通り左右のスタンドポールをスタンドベースにしっかりと取り付けます。

設置方法

（プラズマテレビ本体を包装箱から取り出して据置きスタンドに設置するまでは、平らな床や台の上にきれいな毛布などを置き、その上にテレビの前面を下向きにして置いてください）

1. プラズマテレビ本体を据置きスタンドに取り付ける

■PX600本体の固定

品番ラベルが見えるほうを後側にしてプラズマテレビ本体の穴をスタンドポールに合わせ止まる位置まで入れてください。テレビ本体固定用ねじⒷ（M5×65）を使って、しっかりと固定してください。

■PX600以外のプラズマテレビ本体の固定

品番ラベルが見えるほうを後側にしてプラズマテレビ本体の穴をスタンドポールに合わせ止まる位置まで入れてください。テレビ本体固定用ねじⒸ（M5×30）を使って、しっかりと固定してください。

対象機種は、プラズマテレビ本体の取扱説明書またはカタログに従ってください。

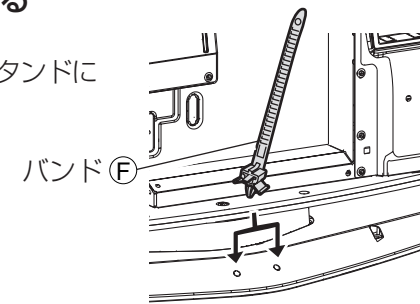
2006年4月現在は、対象機種はありません。

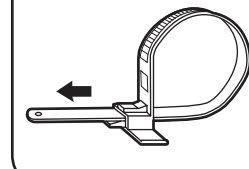
2. 本体から端子カバーを外す（端子カバーのある機種のみ）

3. バンドを取り付ける

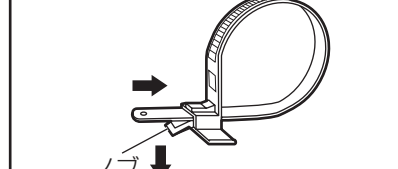
バンドの締め方

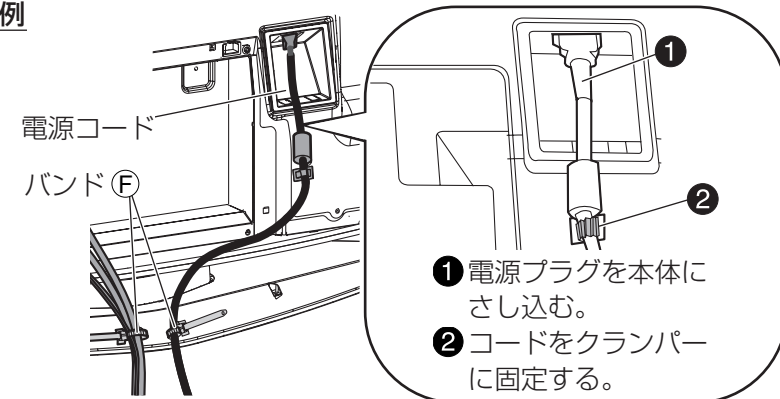
バンド Ⓕ（2本）をスタンドに差し込んでください。

バンド Ⓕ

締める

バンド先端を矢印方向に引く。

ゆるめる

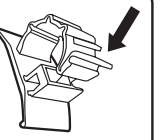
ノブを下方向に押しながら、バンド先端を矢印方向に押す。

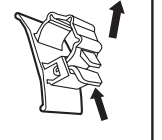
ノブ

4. ケーブルの接続とAC電源コードの固定方法

ケーブル処理の例

❶電源プラグを本体にさし込む。

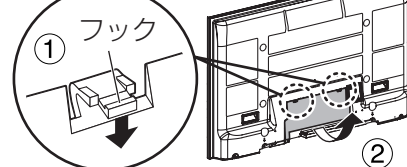
❷コードをクランパーに固定する。

留めかた

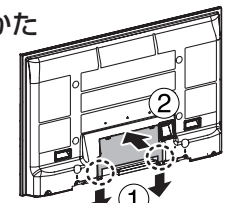
カチッと音がするまで押し込む。

緩めかた

ノブを引きながら上に引く。

5. 本体に端子カバーを取り付ける（端子カバーのある機種のみ）

端子カバーの脱着方法

開けかた

① 左右のフックを押し下げながらカバーを手前に少し引く。

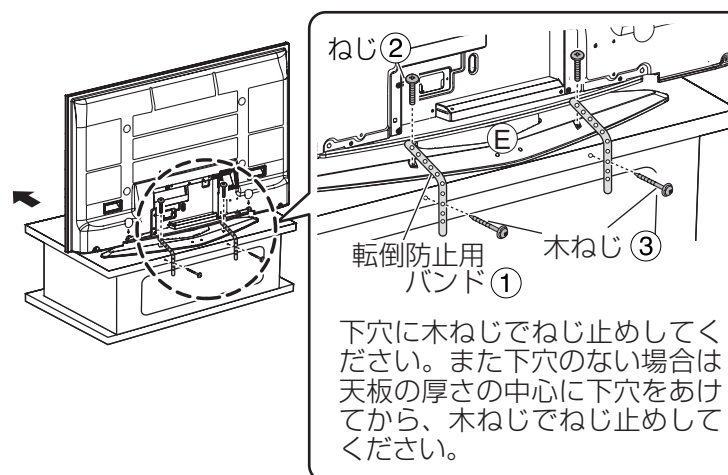
② ゆっくりと引き上げて外す。

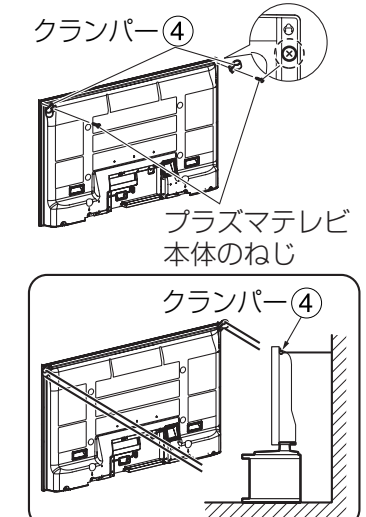
閉めかた

① 端子カバーの下側にあるツメを本体の穴に挿入する。

② 端子カバー上部をカチッと音がするまで押す。

プラズマテレビ本体の転倒防止について

※プラズマテレビ本体はテレビ台と壁面に固定してください。

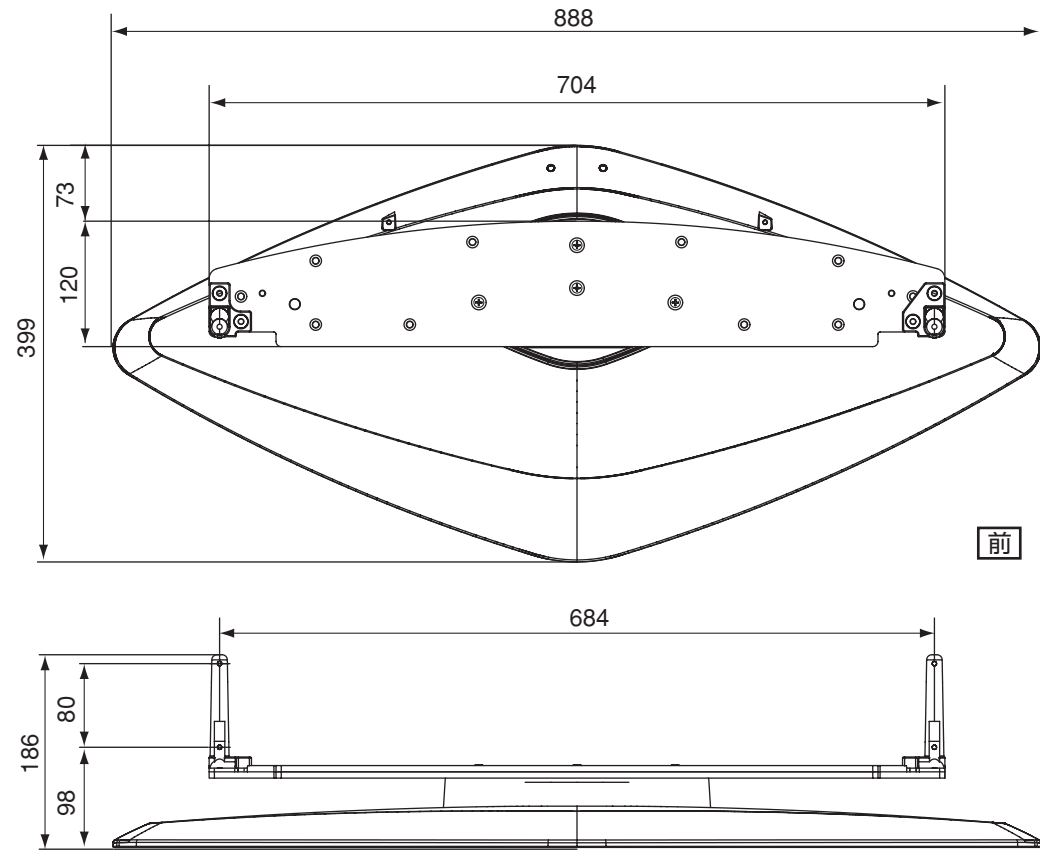
1. テレビ台への固定

下穴に木ねじでねじ止めしてください。また下穴のない場合は天板の厚さの中心に下穴をあけてから、木ねじでねじ止めしてください。

2. 壁面への固定

※プラズマテレビ本体後面上部の両端のねじを取り外したねじで、クランパー④をプラズマテレビ本体に取り付けてください。

※丈夫なひもやクサリなどの市販品をご利用いただき、しっかりした壁や柱に取り付けてください。

・イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

寸法図

単位：mm

取り扱い上のお願い

1. 汚れのふき取りかた
やわらかい乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。
（化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。）
2. 粘着性のテープやシールをはらないでください。据置きスタンド表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
（変質の原因となります。）

据置きスタンド設置上の留意点

- 本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。
- 機器周囲温度が40 ℃をこえることがないように空気の流通を確保してください。
プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。

 注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

⚠警告

据置きスタンドを分解したり、改造しないでください

分解禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。

⚠注意

カタログで指定したテレビとディスプレイ以外には使用しないでください

禁止

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

テレビに乗ったり、ぶら下がったりしないでください

禁止

(特に小さなお子様にはご注意ください。)
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。

曲ったり、いたんだスタンドは使用しないでください

禁止

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

直射日光を避け、熱器具から離してください

禁止

そり・変形・材料の劣化などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

テレビと据置きスタンドの取り付け、取り外しは2人以上で行ってください

テレビ本体が落下してけがの原因となることがあります。

テレビより天面・左右は100 mm以上、後面は70 mm以上の空間を確保してください

テレビ本体には、天面に空気吹き出し孔、底面と後面に吸気孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

据置きスタンドに付属している転倒防止具を利用し、テレビを固定してください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

水平で安定した所に据えつけてください

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

パナソニックお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365日／受付9時～20時